

群馬県立太田女子高等学校			学校評価一覧表（令和6年度版）			(別紙様式)		
羅針盤			方策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	総合		
Ⅰ 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	○授業の内容に、生徒の85%以上が満足している。	○演習や言語活動を効果的に組み込むなど、生徒が意欲・集中力を持続できる授業を工夫する。	A	A	A	○授業については各教科担当が工夫を凝らし、さまざまな試みを実践している。学力の向上はもちろんであるが、生徒が興味を持って取り組むことのできる教材や場を与えている。今後もより高いレベルでの授業を実践していきたい。 ○習熟度授業に関しては80%以上の生徒が満足しているので、効果的であると思うが、より多くの生徒が満足感を得られるよう指導の工夫を行いたい。 ○95%以上の生徒が「太女のことが好き」と回答している。さらに向上させるために学習環境や教育環境の充実をはかっていきたい。	○課外授業の在り方について生徒のニーズに合わせてより良いものにしようとしている。 ○授業については少数でも満足できない生徒に目を向けての工夫を今後も続けてください。 ○授業見学ではほとんどの生徒が積極的に取り組んでいた。 ○生徒が主体的に活動できる行事を大切にしてください。
		○習熟度別の授業形態に、生徒の85%以上が満足している。	○生徒の学力に応じた授業内容を工夫し、生徒の理解度や学習意欲を高める。	B	B	B		
		○自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は、85%以上である。	○生徒が学校生活で充実感を得られるように環境を整える。	A	A	A		
Ⅱ 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	○進路実現に向けた学習指導に満足している生徒が80%以上である。	○55分を有効に活用し、授業改善に努めると同時に、土曜学習や課外授業の内容を充実させる。	A	A	A	○授業や土曜学習・課外については、「満足」「おおむね満足」を合わせて95.0%という結果になっている。一方で、土曜課外に関してはその在り方について否定的な意見もいくつかがあってきている。生徒の学力向上と進路実現のために何が必要かを継続的に考えて改善を図っていきたい。 ○3学年については、入試の結果が出そろっていないが、学年と教科の密接な連携のもと1年間指導した結果が出るよう最後まで指導を継続する。 ○2学年については、1月模試の結果では、国数英3科目の偏差値60以上の生徒の割合は約23%であった。授業、課題、補習の内容については、生徒の実態に合わせてさらなる充実を図りたい。 ○1学年については、1月模試の結果では、国数英3科目の偏差値60以上の生徒の割合は約34%であった。7月、11月模試と比較して偏差値60以上の生徒の割合が増加している。指導をさらに充実させていきたい。	○探究学習や体験学習などを取り入れることによってエージェンシー教育に積極的に取り組んでいる。
		○生徒の65%以上が図書館を利用している。	○教科・学年と連携し図書館の利用を促進する。	B	B	B		
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	○進路実現に向けた基礎学力と応用力を身に付けられると自己評価している生徒が70%以上である。	○予習復習を習慣化させ、基礎学力と応用力を定着させるように指導、課題を工夫する。	A	A	A		
		○国公立大学の合格者数が120名以上である。（3年）	○進路希望実現のため、学年と教科との密接な連携のもと、指導にあたる。	-		-		
		○1月の全国模擬試験で偏差値60以上の生徒が40%以上いる。（2年）	○授業・課外・補習等を通じて全体のレベルアップを図る。	B		B		
		○1月の全国模擬試験で偏差値60以上の生徒が40%以上いる。（1年）	○授業・課外授業を通して基礎学力の向上を図る。	B		B		
Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	○しっかり清掃に取り組めていると自己評価する生徒が80%以上である。	○生徒が主体的に清掃活動を行うことができるよう環境を整える。	A	A	A	○普段の清掃活動を見ていると多くの生徒が積極的かつ丁寧に取り組んでいる。生徒たちのアンケートでも、「しっかり取り組んでいる」と「おおむね取り組んでいる」を合わせると99%であった。家庭での教えもあり、生徒たちの清掃活動は非常に良好な状態である。来年度もこの状態を維持し、学習環境の美化と整備に努める。 ○生徒会活動が充実していると評価した生徒が85%以上であった。今後も、生徒会本部役員を中心とした生徒が主体となった活動を継続的に学校としても支援していきたい。 ○生徒の健康管理について校内での検診等をとおして管理をし、必要に応じて受診を勧めるようにしている。保健だより等を定期的に発行し、生徒や保護者への注意喚起をおこなっている。生徒アンケートでは「健康の維持・増進に努めている」と「ある程度努めている」とを合わせて95%であった。今年度全国的にインフルエンザ等の流行が報道されているが、本校では昨年度に比べては減少している。予防の意識は高く、手洗いうがいをおこなってる生徒も目にする。来年度も健康維持や感染予防に努める。 ○部活動が充実していると評価した生徒が85%以上であった。今後も、生徒が主体となった活動を継続的に学校としても支援していきたい。 ○85%以上の生徒が安全指導を真摯に受け止めている。今後も、県主催のサイクルサミットの成果を生徒主体に共有する活動を継続する等、学校としても支援していきたい。 ○交通安全意識が高まり、自転車ヘルメットの着用率が90%を超えていた。今後も、生徒が主体となったヘルメット着用の啓発活動を継続的に学校としても支援していきたい。	○授業以外の部活動やイベントなどにも積極的に生徒を支援し、充実した活動を行っている。 ○不登校傾向の生徒へは今後も丁寧に指導ください。 ○登校が難しい生徒に対して、担任を中心に丁寧に個別指導を行っている。 ○不登校の生徒が増えていると聞き心配している。
		○生徒会活動が充実していると評価した生徒が85%以上である。	○生徒が自主的、積極的に活動するような行事計画を立案させる。	A	A	A		
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	○本校がいじめ防止の取組を周知・実践していると評価する生徒・保護者が85%以上である。	○本校いじめ防止プログラムに従い指導を行う。	A	A	A		
		○本校がいじめ防止の取組を周知・実践していると評価する生徒・保護者が85%以上である。	○保護者と協力し生徒自身が健康管理できるような指導と情報の提供を適宜行う。	A	A	A		
	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	○健康管理の重要性を理解し、維持や改善に努力していると自己評価する生徒が80%以上である。	○生徒が目標を持って積極的に活動できるように指導する。	A	A	A		
		○部活動が充実していると評価した生徒が85%以上である。	○交通マナー向上及び事故予測回避の指導を行う。	A	A	A		
		○85%以上の生徒が安全指導を真摯に受け止め、交通事故ゼロを目指す。	○ヘルメット購入の案内紹介は機会を複数回設け、見本を手にとって見られるようにする。	A	A	A		
		○交通安全意識が高まり、自転車ヘルメットの着用率が90%を超えている。	○自己管理能力を高め、学校を中心とした生活リズムを卒業まで保たせる。	B		B		
		○入院等のやむを得ない理由を除き、欠席率が1%未満である。（3年）	○学校生活を充実したものにするとともに、自己管理・健康管理の重要性を自覚させる。	B		B		
		○入院等のやむを得ない理由を除き、欠席率が1%未満である。（1年）	○基本的な生活習慣を定着させ、魅力ある授業と、活気が出るようクラス経営を工夫する。	B		B		
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	○進路に関するLHRや進路講演会等の各種進路行事が役立っていると評価する生徒が80%以上である。	○進路指導に関するLHRを充実させるとともに講演会については効果的な内容・時期にて実施する。	A	A	A	○もっと進路実績をPRしてもよいのではと思います。（パンフレット、看板、ホームページなど）	
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	○社会情勢と自己の適性を考慮して、志望校と自己のキャリアプランを関連させて考えている生徒が80%以上である。	○探究学習推進委員会と密接な連携の上で、キャリア教育の充実を図り、自己実現のためにより高い目標を設定させる。	A	A	A		
Ⅴ 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	○PTA関連行事（進路講演会・大学視察見学・文化祭等）に年1回以上参加している保護者が80%以上である。	○PTA行事についての保護者への告知やアンケート回答の方法を改善するとともにホームページ等による情報発信の機会を増やす。	A	A	A	○8割近くの保護者がいずれかの機会・形式でPTA行事に参加してくれている。今年度は学校行事もほぼ正常開催され、生徒の学習活動の様子を見てもらう機会も増えた。来年度も多くの保護者が参加できるよう、本部役員・職員双方の負担に配慮しつつ工夫を重ねていきたい。 ○Webページの内容を充実させるとともに、更新頻度をあげていき、有効な情報を発信していきたい。	○インスタグラム開設など積極的な配信を心掛けている。 ○地域への情報発信も行ってください。 ○生徒からの発信が大切ではないか。
		○学校のホームページを月に2回以上更新する。	○全職員に更新方法を周知する。	B	B	B		
Ⅵ 教育デジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	○ICTを活用した授業に満足している生徒・保護者が70%以上である。	○授業における積極的かつ効果的なICT活用を推進する。	A		A	○現在の形を継続していく。	○ICT活用のための機材が充実している。 ○理型生徒の育成に積極的に取り組んでいる。 ○ICTの活用は今後も求められることであるので、「モラル」の部分の指導も必要だと思います。
		○ICTを活用した配信に満足している生徒・保護者が70%である。	○各種連絡、配布物やアンケートをオンラインで配信・回収する。	A	A	A		
	11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	○職員会議と朝会は年間半数以上ペーパーレスで実施している。	○職員会議資料閲覧資料を共有ネットワーク上に整備する。	A		A		